

平成29年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 数学 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の減法の計算ができること。			○		○	
②		(2)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の除法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と式	1年	A(2)ウ 簡単な一次式の計算	分配法則を使って数と一次式の乗法及び同類項をまとめる等の計算ができること。			○		○	
④		(4)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	文字式に数を代入して、式の値を求めることができること。			○		○	
⑤	2	(1)		数と式	1年	A(3)ウ 一元一次方程式を解くこと	一元一次方程式を解き、解を求めることができること。			○		○	
⑥		(2)		数と式	1年	A(1)ア 正の数と負の数の必要性和意味	正の数と負の数の意味を実生活の場面と結びつけて理解していること。				○	○	
⑦		(3)		関数	1年	C(1)オ 比例を用いて事象をとらえること	具体的な事象における変域の表し方を理解していること。				○	○	
⑧		(4)		数量関係	小6	D(5) 起こり得る場合	起こり得る場合を調べることができること。			○		○	
⑨		(5)		量と測定	小6	B(3)ア 角柱及び円柱の体積	角柱の体積を計算によって求めることができること。			○		○	
⑩		(6)		図形	小6	C(1)ア 縮図や拡大図	縮図を用いて、実際の長さの求め方を説明することができること。		○				○
⑪	3	(1)		数と式	1年	A(2)ア 文字を用いることの必要性和意味	2つの数量の関係を、図と関連付けて理解していること。				○	○	
⑫		(2)		数と式	1年	A(2)ア 文字を用いることの必要性和意味	数量の関係を文字式に表すことができること。			○		○	
⑬	4	(1)		関数	1年	C(1)エ 比例の特徴	2つの数量の関係のグラフから比例の関係や特徴を読み取ることができること。			○		○	
⑭		(2)		関数	1年	C(1)オ 比例を用いて事象をとらえ説明すること	比例の関係をj用いて、課題解決の方法を説明することができること。		○				○
⑮	5	(1)		数量関係	小6	D(4)イ 度数分布を表す表やグラフ	柱状グラフから必要な情報を読み取ろうとしていること。	○					○
⑯		(2)		数量関係	小6	D(4)イ 度数分布を表す表やグラフ	与えられた情報に当てはまる柱状グラフを適切に選択し、その根拠を説明することができること。		○				○
⑰	6	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	具体的な事象における数量の関係に関心をもち、問題を把握しようとしていること。	○					○
⑱		(2)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	式の意味を捉え、式が表している数量を説明することができること。		○				○
⑲	7	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	方程式が表している数量の意味を理解していること。				○	○	
⑳		(2)		数と式	1年	A(3)ウ 一元一次方程式の活用	数量の関係をjとらえ方程式をつくることができ、式が表す数量の意味をjとらえることができること。		○				○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。